

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月29日
10時00分34秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0010010000	都市計画室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00672	都市計画審議会運営事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり		
細節	13	総合的な都市整備の推進／都市機能の向上と市街地の整備		
予算事業	10703	01	08	05
		01	03	01
		01	01	
		都市計画審議会運営事業（都市計画総務費）		
所属長	松本 康司		担当者（内線）橋本 和子（2657）	
根拠法令等	都市計画法・吹田市都市計画審議会条例・吹田市都市計画審議会条例施行規則			
事業開始年度	昭和44年度	直近の改正	平成12年度	
改正内容	吹田市都市計画審議会規則を廃止し、吹田市都市計画審議会条例を制定			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	吹田市都市計画審議会		
目標	吹田市都市計画審議会の円滑な運営		
結果	都市計画法によりその権限に属せられた事項を審議し、市長の諮問に応じ答申する。		
事業概要	都市計画法上与えられた市町村による都市計画の決定及び、市長の諮問に応じ都市計画に関する事項を調査する。また、都市計画に関する事項を関係行政機関に建議する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	599	317	529	226	449
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	2,416	2,416	2,384
総事業費(A+B)	3,050	2,687	2,945	2,642	2,833
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	3,050	2,687	2,945	2,642	2,833
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,050	2,687	2,945	2,642	2,833
財源計(C+D)	3,050	2,687	2,945	2,642	2,833

所属	都市計画室
事務事業番号	00672

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	審議会開催回数	回	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	3.00	2.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	審議会開催回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	895.67	1,321.00	
			一般財源(千円)	895.67	1,321.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	諮問・答申数	件	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	7.00	5.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	諮問・答申数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	383.86	528.40	
			一般財源(千円)	383.86	528.40	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	都市計画法(昭和43年法律第100号)第77条の2第1項の規定に基づき、地区計画等の案件を審議し、答申する。	目標	諮問機関のため、目標設定はなじまない。
成果内容	平成29年度においては、北部大阪都市計画生産緑地地区の変更(吹田市決定)など5議案を諮問し、すべて承認された。	達成状況	達成している。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	都市計画法に基づき、吹田市の条例に定められた必要不可欠な機関と位置付けている。		

事務事業分析シート

所属名	都市計画室	事業名	都市計画審議会運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00672				

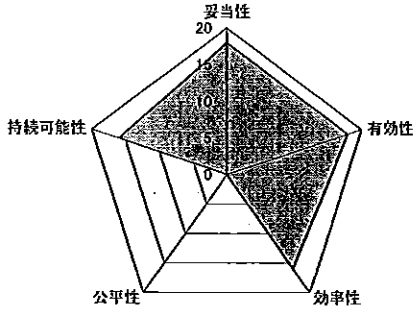
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	都市計画室	事務事業番号	00672
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>都市計画審議会は、都市計画法第19条の規定に基づき市が都市計画を定めるときに、同法第77条の2の規定に基づき設置した市長の諮問機関であり、都市計画は、市の住民や学識経験者、議会の議員、関係する行政機関の職員などから構成される審議会の調査審議を経て決定することから必要な機関である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月12日
15時43分35秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0010010000	都市計画室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00673	景観まちづくり推進事業				
章	06	安全で魅力的なまちづくり				
節	04	景観に配慮したまちづくり				
細節	10	良好な都市景観の形成				
予算事業	10704	01	08	05	01 04 01 01	景観まちづくり推進事業（都市計画総務費）
所属長	松本 康司		担当者（内線）隅田（2661）			
根拠法令等	景観法、吹田市景観まちづくり条例、吹田市景観まちづくり活動補助金交付要綱					
事業開始年度	平成9年度	直近の改正	平成21年度			
改正内容	吹田市景観まちづくり条例、吹田市景観まちづくり活動補助金交付要綱の制定					
市単独事業区分	○ 全部 ● 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり） 景観法に基づく行為の届出に先立ち、条例により事前協議制度を位置づけている。また市民による主体的な景観まちづくり活動を啓発・支援するため、啓発イベントの開催や景観まちづくり活動補助金の交付を行っている。					

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市民・事業者・専門家等・行政		
目標	「吹田市景観まちづくり計画」や「吹田市景観まちづくり条例」を活用し、市民、事業者、専門家等及び市の相互の協働により景観まちづくりを推進する。		
結果	地域らしさと潤いのある景観まちづくりを行い、次代に誇れる快適な都市環境を創造する。		
事業概要	条例に基づき、一定規模以上の開発を行う際に、事前協議制度を位置づけ、「景観アドバイザー会議」を活用しながら、必要な助言・指導を行っている。また、市内で特に良好な景観形成の必要がある地域等を重点地区に指定するため、土地所有者等と協議を行っている。市民に対しては広く景観に関する情報提供や景観まちづくり活動の普及のための啓発を行うとともに、主体的に取り組む景観まちづくり活動に係る費用について、予算の範囲内で補助を行う等の支援をしている。前述の重点地区の指定や景観まちづくり活動補助等本市の景観に関する重要事項について、学識経験者・関係機関・市民からなる「吹田市景観まちづくり審議会」を開催し意見を求めている。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
■ 補助金・負担金	交付先①	景観まちづくり活動に取り組む市民等団体	
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,745	1,073	1,757	1,553	26,346
人件費職員数(人)	3.40	3.40	4.00	4.50	4.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	27,778	26,860	32,208	36,234	31,780
総事業費(A+B)	29,523	27,933	33,965	37,787	58,126
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	29,523	27,933	33,965	37,787	58,126
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	29,523	27,933	33,965	37,787	58,126
財源計(C+D)	29,523	27,933	33,965	37,787	58,126

所属	都市計画室
事務事業番号	00673

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	事前協議等件数	件	目標値	291.00	278.00	269.00
			実績値	241.00	246.00	
			達成度(%)	82.80	88.50	
目標値の積算方法	過去5年の事前協議件数の平均値から設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	115.90	153.61	
			一般財源(千円)	115.90	153.61	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	景観まちづくりに関する啓発・支援事業の実施回数	回	目標値	15.00	15.00	18.00
			実績値	13.00	18.00	
			達成度(%)	86.70	120.00	
目標値の積算方法	景観パネル展やまちあるき等啓発イベントの開催目標日数、景観まちづくり活動補助金交付目標件数の合算	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2,148.69	2,099.28	
			一般財源(千円)	2,148.69	2,099.28	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	助言・指導に対する反映割合	%	目標値	100.00	100.00	100.00
			実績値	70.84	75.08	
			達成度(%)	70.80	75.10	
目標値の積算方法	指導事項が全て反映されることを目標として設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	394.31	503.29	
			一般財源(千円)	394.31	503.29	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 景観を指標で表すことは困難であるため、市民意識調査を活用し、まちなみを美しいと感じている人の割合の向上を目指す。	達成状況 「吹田市市民意識調査結果」まちなみは美しいと感じてる人の割合：平成26年度58.6%、平成22年度57.2%

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	■ 拡充 □ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	「吹田市景観まちづくり計画」及び「吹田市景観まちづくり条例」に基づき、市民、事業者、専門家等及び行政の相互の協働による景観まちづくりを推進するため、今後も継続して、事前協議制度による助言や指導を行い、また、重点地区の指定に向けた協議等や、啓発、支援の取組みを行っていく必要がある。 景観に与える影響の大きい屋外広告物の規制については、今後、本市独自の屋外広告物条例の制定に向けた検討を進めていくとともに、屋外広告物に関する啓発の取組みを合わせて行っていく必要がある。

事務事業分析シート

所属名	都市計画室	事業名	景観まちづくり推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00673				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	14	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
	a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点

所属名	都市計画室	事務事業番号	00673
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>重点地区の指定に向け、開発事業者との協議を行うとともに、市民に対する普及啓発の取り組みや、景観まちづくり活動補助金などの支援事業を行うことにより、景観まちづくりを推進している。今後は、既成市街地における重点地区指定に向けた取組みを積極的に行っていくことや、啓発、支援のあり方について、より効果的な手法を検討し、実践していく必要がある。</p> <p>一定規模以上の開発等を行う事業者に対しては、「吹田市景観まちづくり条例」に基づく事前協議の際に、景観アドバイザー制度も活用し、必要な助言・指導を行い、景観まちづくりを推進している。今後も、事業者が助言・指導を踏まえた計画に取り組めるよう、きめ細かな協議を行っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成32年度施行に向け、屋外広告物条例制定の取組を進めている。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
17時05分50秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0010010000	都市計画室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00674	大阪外環状線鉄道建設事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	13	総合的な都市整備の推進/都市機能の向上と市街地の整備							
予算事業	10705	01	08	05	01	05	01	01	大阪外環状線鉄道建設事業（都市計画総務費）
所属長	松本 康司			担当者（内線）			宮本（2661）		
根拠法令等	鉄道事業法・地方公営企業に準ずる第三セクターによる貨物線旅客化整備事業実施要綱								
事業開始年度	平成8年度	直近の改正			平成26年度				
改正内容	第69条改正（鉄道事業法）								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	南吹田地域		
目標	大阪外環状線鉄道（おおさか東線）の建設と新駅の設置		
結果	大阪外環状線鉄道（おおさか東線）の新駅設置による交通結節点機能の改善により、地域の発展や活力と賑わいにあふれた利便性の高いまちの実現		
事業概要	大阪外環状線鉄道建設事業は、旅客輸送を行うため、城東貨物線の用地を活用しながら複線化・電化を行うとともに新大阪駅に至る連絡線を新設し、新大阪駅から大阪東部地域を経て、JR関西線の久宝寺駅にいたる旅客線（おおさか東線）を整備するもので、平成20年3月に南区間の放出駅から久宝寺駅が開業した。残りの新大阪駅から放出駅までの北区间については、平成30年度末の開業に向け、整備を進めている。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
■ 補助金・負担金	交付先①	大阪外環状鉄道株式会社	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	164,560	154,474	222,730	210,046	159,050
人件費職員数(人)	1.00	0.80	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	6,320	8,052	8,052	7,945
総事業費(A+B)	172,730	160,794	230,782	218,098	166,995
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	172,730	160,794	230,782	218,098	166,995
地方債	164,500	154,400	222,700	210,000	149,500
その他	0	50	0	36	0
一般財源	8,230	6,344	8,082	8,062	17,495
財源計(C+D)	172,730	160,794	230,782	218,098	166,995

所属	都市計画室
事務事業番号	00674

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	工事進捗率	%	目標値	84.68	93.88	99.42
			実績値	81.38	89.98	
			達成度(%)	96.10	95.80	
目標値の積算方法	執行予定事業費/全体事業費	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,975.84	2,423.85	
			一般財源(千円)	77.96	89.60	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 南吹田地域に大阪外環状線鉄道(おおさか東線)の新駅が開業することで、南吹田地域の利便性の向上等の効果をもたらす。	達成状況 平成30年度末の新駅開業に向け順調に工事が進捗している。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	大阪外環状線鉄道(おおさか東線)の整備により南吹田地域に設置される新駅が、新大阪や大阪の東部地域とつながることにより、鉄道利用者には、所要時間の短縮や交通分散による混雑緩和といった効果があり、社会全体には、鉄道ネットワークの充実、生活利便性の向上、地域の活性化等のさまざまな効果が出てくる。このような効果をもたらす大阪外環状線鉄道建設事業は、本市にとって重要であると考えます。

事務事業分析シート

所属名	都市計画室	事業名	大阪外環状線鉄道建設事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00674				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点		
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点		
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。			
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点		
		③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。			
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
		①単位当たりコストは適正ですか。			
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点		
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	96	①サービスの対象範囲は適正ですか。			
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点		
		②サービスの水準は適正ですか。			
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点		
		③適正な受益者負担を求めていますか。			
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	96	④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。			
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点		
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	96	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
		a. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	都市計画室	事務事業番号	00674
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

鉄道事業は、事業中だけでなく、事業が完了し、開業してから「総所要時間短縮効果」や「道路交通混雑緩和効果」、「環境改善効果」、地域の活性化等のさまざまな波及効果があり、建設事業中だけの評価では推し量れないものが多数ある。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>開業後の「総所要時間短縮効果」や「道路交通混雑緩和効果」、「環境改善効果」、地域の活性化等のさまざまな波及効果を見据え、平成30年度末の開業に向け工事は順調に進捗している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
10時00分34秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0010010000	都市計画室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00675	都市計画情報デジタル化推進事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり		
細節	12	総合的な都市整備の推進/適切な土地利用の誘導		
予算事業	10708	01	08	05
		01	07	01
		01	01	
所属長	松本 康司 担当者(内線) 田中(2659)			
根拠法令等	都市計画法、測量法			
事業開始年度	平成16年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部(上乘せ、横出し等あり) ○ なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)			

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	都市計画の内容		
目標	市民や業者の方が、市の窓口で直接来なくても、都市計画の概要をインターネットを利用し確認することができる。		
結果	①市民や業者への情報提供 ②市民サービスの向上		
事業概要	都市計画図や都市計画基礎調査データ等をデジタル化し、地図情報と合わせることで都市計画情報を一元管理している。平成28年10月からは、吹田市ホームページ上の、都市計画情報配信システム「都市計画情報すいた」で、用途地域などの情報を市民、事業者等に情報提供している。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(株)パスコ 大阪支店
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	システムカスタマイズ委託
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	4,513	4,331	3,797	3,648	2,835
人件費職員数(人)	0.90	0.70	0.50	1.00	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	7,353	5,530	4,026	8,052	3,973
総事業費(A+B)	11,866	9,861	7,823	11,700	6,808
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	11,866	9,861	7,823	11,700	6,808
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	11,866	9,861	7,823	11,700	6,808
財源計(C+D)	11,866	9,861	7,823	11,700	6,808

所属	都市計画室
事務事業番号	00675

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	都市計画縦覧ページ閲覧数 (平成28年度は10月より運用開始の「都市計画情報すいた」閲覧数)	件	目標値	25,000.00	25,000.00	27,000.00
			実績値	9,680.00	26,576.00	
			達成度(%)	38.70	106.30	
目標値の積算方法	実績値を参考にした数値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.02	0.44	
			一般財源(千円)	1.02	0.44	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 都市計画情報をインターネットを通じて、市民、事業者等に情報提供を行うことにより市民サービスの向上を図る。	達成状況 クラウドサービスを利用したWebGISにて、市民や事業者等に都市計画決定・変更の情報を迅速に提供した。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>市民や事業者等からの都市計画情報に関する窓口や電話での問い合わせは多く、住所や地番で位置を確認し情報を提供しているが、更なる利便性の向上を目的とし、平成28年度からクラウドサービスを利用した検索機能のある地図情報システム「都市計画情報すいた」(WebGIS)の運用を開始している。</p> <p>なお、平成28年度の達成度が低い(閲覧数)理由は、平成28年10月1日から運用を開始した「都市計画情報すいた」のみの閲覧数を記載しているためである。当初は認知不足もあり閲覧数が伸びなかったが、徐々に閲覧数も伸び、平成29年度は目標値以上の閲覧数となり、今後も周知に努め、システムの利用を促進する。</p>

事務事業分析シート

所属名	都市計画室	事業名	都市計画情報デジタル化推進事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00675				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	95	一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	都市計画室	事務事業番号	00675
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市民や事業者等からの都市計画情報に関する窓口や電話での問い合わせは多く、住所や地番で位置を確認し、情報を提供している。平成28年度からクラウドサービスを利用した検索機能のある地図情報システムの運用を開始し、平成29年度の閲覧数は目標以上となっており、市民や事業者等の利便性の向上に寄与していると考え。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
17時10分29秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0010010000	都市計画室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00677	南吹田地域まちづくり事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	11	総合的な都市整備の推進/地域の特性を生かしたまちづくりの推進							
予算事業	10724	01	08	05	04	01	01	01	南吹田地域まちづくり事業（都市計画調査費）
所属長	松本 康司			担当者（内線）	宮本（2661）				
根拠法令等	南吹田地域のまちづくり基本計画、南吹田地域アドバイザー派遣要領								
事業開始年度	平成18年度	直近の改正	平成26年度						
改正内容	派遣を受けた団体だけでなく、アドバイザー本人から派遣結果レポートの提出を受けるよう改正								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	南吹田地域		
目標	市域南部の新たな地域拠点として、南吹田の地域特性を生かした魅力あるまちづくりをめざす。		
結果	地域特性を生かした魅力的な都市環境の形成		
事業概要	大阪外環状線鉄道（おおさか東線）の新駅設置や周辺の幹線道路整備などに伴う、地域ポテンシャルの向上を踏まえ、駅前にふさわしい魅力的な都市環境の形成を図るため、『南吹田地域のまちづくり基本計画』に基づき、地域主体のまちづくり活動の支援等を行うことで、協働による南吹田地域のまちづくりを推進する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	パナソニック株式会社
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	南吹田新駅周辺まちづくり検討VR作成業務
交付先①			
交付先②			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	まちづくり専門家であるアドバイザーを南吹田地域のまちづくり活動団体に派遣	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	4,245	1,629	132	132	182
人件費職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.50	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	16,340	15,800	16,104	20,130	15,890
総事業費(A+B)	20,585	17,429	16,236	20,262	16,072
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	20,585	17,429	16,236	20,262	16,072
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	20,585	17,429	16,236	20,262	16,072
財源計(C+D)	20,585	17,429	16,236	20,262	16,072

所属	都市計画室
事務事業番号	00677

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	アドバイザーの派遣回数	回	目標値	8.00	8.00	8.00
			実績値	8.00	8.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	アドバイザーの派遣回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2,178.63	2,532.75	
			一般財源(千円)	2,178.63	2,532.75	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 まちづくりに対する意識の向上や理解を深めるための活動を支援することで、地域特性を生かした魅力あるまちづくりを推進する。	達成状況 アドバイザー派遣により、協議会主導によるイベントや先進事例の視察見学会等を実施した。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>平成30年度末の大阪外環状線鉄道(おおさか東線)の開業に向けて、幹線道路の整備がなされ、地域のまちづくりの機運がますます高まってきている。地域特性を生かした魅力あるまちづくりの実現のため、『南吹田地域のまちづくり基本計画』を推進するとともに「南吹田駅まちづくり推進市民協議会」と連携し、協働による「南吹田地域まちづくり構想」の実現に向け、活動を支援していく。</p>

事務事業分析シート

所属名	都市計画室	事業名	南吹田地域まちづくり事業	事業区分	その他
事務事業番号	00677				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	都市計画室	事務事業番号	00677
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

南吹田地域の新駅(予定)周辺は、都市計画マスタープランにおいて「市域南部の新しい地域拠点」として位置付けており、平成28年度は「南吹田新駅周辺まちづくり検討VR作成業務」を実施し、設計内容や視点など多様な変更が可能で視覚的に効果が得られるシステムで作成した「まちの将来イメージ」を地権者等と共有し、具体的な土地利用の誘導策等について検討を行った。平成29年度においては、作成したVRを用いて周辺住民等への説明を継続して実施し、新駅周辺の将来像について共有したうえで、今後想定される土地利用の転換に際して、事前にまちづくりに関するルールを作る必要性について検討を行った。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地域ではこれまで、まちづくりに関するニュースの発行や学習会、イルミネーションのイベントなどを実施しており、これらの活動に対して「アドバイザー派遣相談」を受け、「まちづくりアドバイザー」を地域のまちづくり団体に平成21年度より派遣している。大阪外環状線鉄道(おおさか東線)の平成30年度末開業を控え、従来からの取組継続に加えて、魅力的なまちとするためのルールづくりの取組も進められており、地域におけるまちづくり活動が活発化している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
09時15分55秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0010010000	都市計画室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00678	まちづくり活動支援事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり		
細節	11	総合的な都市整備の推進/地域の特性を生かしたまちづくりの推進		
予算事業	10725	01	08	05
所属長	松本 康司	04	02	01
根拠法令等	都市計画法、吹田市都市計画まちづくりアドバイザー派遣要領、吹田市景観アドバイザー派遣要領			
事業開始年度	平成21年度	直近の改正	平成21年度	
改正内容	「吹田市都市計画まちづくりアドバイザー派遣要領」の新規制定			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	まちづくりのルール化を目指す自治会等の団体		
目標	地域の特性を活かした市民主体のまちづくりを推進するため、まちづくり活動の初動期、住民の合意形成など都市計画に関するまちづくりの知識の普及や活動への支援を行う。		
結果	地域の特性に応じたまちづくりの実現		
事業概要	まちづくりのルール化を目指す自治会等の団体の活動を支援するために、職員およびアドバイザーを派遣する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
		交付先①	
交付先②			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	職員およびアドバイザー派遣	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	286	121	303	189	232
人件費職員数(人)	1.50	1.50	2.50	3.00	2.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	12,255	11,850	20,130	24,156	19,863
総事業費(A+B)	12,541	11,971	20,433	24,345	20,095
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	12,541	11,971	20,433	24,345	20,095
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	12,541	11,971	20,433	24,345	20,095
財源計(C+D)	12,541	11,971	20,433	24,345	20,095

所属	都市計画室
事務事業番号	00678

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	アドバイザーの派遣回数	回	目標値	17.00	17.00	11.00
			実績値	9.00	10.00	
			達成度(%)	52.90	58.80	
目標値の積算方法	当該年度に活動見込のある団体へのアドバイザー派遣予定回数の積上げ	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,330.11	2,434.50	
			一般財源(千円)	1,330.11	2,434.50	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	地域の特性を活かした市民主体のまちづくりを推進するため、まちづくり活動の初期や、ルール化に向けての合意形成期などに、都市計画に関するまちづくりの知識の普及や活動の支援を行う。	目標	地域の特性に応じたまちづくりの実現
成果内容	まちづくりに関する知識の普及や、活動の支援を行うことを通じて地域特性を活かしたまちづくりを推進する。	達成状況	アドバイザー派遣に加え、職員にて自治会等の団体活動の支援を行い、地域の特性に応じたまちづくりを進めた。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>まちづくりへの取り組みに関しては、全国的な財政難や官民連携のまちづくりのあり方等の問題に直面する中、従来のハード面への関わり方に加え、地域の課題解決に向けた対話や意見交換の機会づくり等のソフト面への関わり方が重要視されている。本市においても、市民や事業者、様々な専門家や行政などまちづくりに関わる多様な主体が協働するまちづくりを進めており、また、上記のようなまちづくり支援を求める市民ニーズも高いため、事業として必要であり継続すべきと考える。</p> <p>なお、平成29年度は、古江台1丁目西部自治会や玉の井自治会を中心にまちづくり活動支援を行い、玉の井自治会では住民発意による地区計画案について合意形成が図られるなど、住民主体の地域の特性に応じたまちづくりについて一定の進展がみられた。</p>

事務事業分析シート

所属名	都市計画室	事業名	まちづくり活動支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00678				

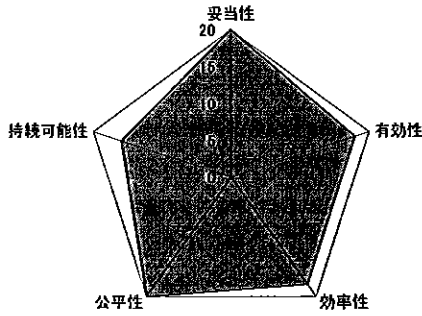
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(6点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	92	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	都市計画室	事務事業番号	00678
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地域の特性を活かした市民主体のまちづくりを推進するため、アドバイザーの派遣や職員による出前講座の実施などにより、まちづくりに関する情報の提供や活動の支援を行っている。これらのまちづくり活動に対する支援は、地域特性を生かしたまちづくりの推進に重要な役割を果たしている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
09時16分45秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0010010000	都市計画室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00679	都市計画マスタープラン事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり		
細節	13	総合的な都市整備の推進/都市機能の向上と市街地の整備		
予算事業	10726	01	08	05
所属長	松本 康司	04	03	01
根拠法令等	都市計画法	01	01	
事業開始年度	平成23年度	直近の改正 なし		
改正内容	なし			
市単独事業区分	○ 全部 ● 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり） 都市計画マスタープランは都市計画法第18条の2に基づき市が定めるものであるが、その策定方法、策定、改定時期等は市の裁量で実施できる。			
担当者（内線）	田中（2659）			

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	吹田市全域（都市計画に関する全般）		
目標	吹田市都市計画マスタープランに基づき、都市計画に関する様々な施策を推進し、安全で魅力的なまちづくりをめざす。		
結果	地域特性を活かした多様で魅力ある都市空間の形成、拠点市街地の形成、都市機能軸の充実など、都市計画マスタープランに示す都市空間の将来像の実現。		
事業概要	吹田市都市計画マスタープランは、都市計画法第18条の2に基づく本市の都市計画に関する基本的な方針を定めたものであり、吹田市総合計画を上位計画とし、まちづくりの基本理念や都市空間の将来像、まちづくりの方針などを示している。都市計画マスタープランに基づき様々な施策を推進するとともに、都市計画に関する基礎的調査を実施し都市計画に反映するなど、都市計画の進行管理を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,186	15,292	615	476	0
人件費職員数(人)	2.00	3.90	3.00	3.50	3.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	16,340	30,810	24,156	28,182	23,835
総事業費(A+B)	19,526	46,102	24,771	28,658	23,835
特定財源(C)	172	2,781	2,045	0	0
国	0	2,600	1,782	0	0
府	172	181	262	0	0
その他	0	0	1	0	0
市負担(D)	19,354	43,321	22,726	28,658	23,835
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	19,354	43,321	22,726	28,658	23,835
財源計(G+D)	19,526	46,102	24,771	28,658	23,835

所属	都市計画室
事務事業番号	00679

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	都市計画マスタープランに基づき様々な施策の推進を図るとともに、都市計画の進行管理を行う。	目標	吹田市都市計画マスタープランに基づき、都市計画に関する施策の推進を図るなど、安全で魅力的なまちづくりをめざす。
成果内容	都市計画マスタープランに示す都市空間の将来像の実現を推進する。	達成状況	都市計画関連施策の推進、都市計画の変更を行うことで、都市空間の将来像の実現に向け前進した。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	吹田市都市計画マスタープランは、都市計画法第18条の2に基づく本市の都市計画に関する基本的な方針を定めたものであり、吹田市総合計画を上位計画とし、まちづくりの基本理念や都市空間の将来像、まちづくりの方針などを示している本市都市計画にとって根幹をなすべきものである。よって都市計画マスタープランに基づき、施策を推進し、都市計画の進行管理を行う当事業は継続していくものとする。 なお、平成29年度は地域地区のひとつである「風致地区」の見直し検討を行った結果、一部区域拡大変更を行い、緑に富んだ都市環境の維持を図った。

事務事業分析シート

所属名	都市計画室	事業名	都市計画マスタープラン事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00679				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
内部管理	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	95	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	都市計画室	事務事業番号	00679
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>吹田市都市計画マスタープランに基づき、施策を推進している。また、策定以降の社会情勢の動向や市民意向、関連施策の進捗状況等を踏まえ、平成26年度に計画を改定した。当事業においては具体的な活動指標や成果指標を示すことは困難であるが、吹田市都市計画マスタープランに沿った達成状況等を分析しながら、必要に応じて都市計画変更等を行い、都市空間の将来像実現に向け前進している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
16時54分24秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0010010000	都市計画室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00680	都市計画施設整備費積立事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり		
細節	13	総合的な都市整備の推進／都市機能の向上と市街地の整備		
予算事業	10729	01	08	05 19 01 01 01
所属長	松本 康司	都市計画施設整備費積立事業（都市計画施設整備費積立金） 担当者（内線）橋本 和子（2657）		
根拠法令等	吹田市積立金条例（S39. 3. 31制定）、都市計画施設整備基金要綱（S61. 2. 1制定）			
事業開始年度	昭和59年度	直近の改正	平成23年度	
改正内容	都市計画施設整備基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することを可能とした。			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	吹田市都市計画施設整備基金		
目標	大型事業を施工するにあたり、莫大な費用が生じるため基金を積立てる。		
結果	財源確保に不測の事態が生じても、事業を遅延なく進めていくことができる。		
事業概要	都市計画施設を整備する際に必要となる経費を積立てる。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	1,123	0	1,016	0
人件費職員数(人)	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	0	790	0	0	0
総事業費(A+B)	0	1,913	0	1,016	0
特定財源(C)	0	1,123	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	1,123	0	0	0
市負担(D)	0	790	0	1,016	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	790	0	1,016	0
財源計(C+D)	0	1,913	0	1,016	0

所属	都市計画室
事務事業番号	00680

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	都市計画施設整備基金残高	千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	5,988,341.00	5,149,357.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	都市計画施設整備基金残高	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	都市計画施設整備基金取崩し額	千円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	1,000,000.00	840,000.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	都市計画施設整備基金取崩し額	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	本市の都市計画施設事業で多額の費用を要する大型事業を施工するにあたり、財政確保に不測の事態が生じても、事業を遅延することなく進めていくため、毎年の財政状況等も勘案し、可能な限り基金の積立てを行うために必要な継続事業である。

事務事業分析シート

所属名	都市計画室	事業名	都市計画施設整備費積立事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00680				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点	
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点	
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点	
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点	
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理	点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		内部管理	点	
(5) 持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		内部管理	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点	
評価点合計 (100点満点)	90	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点	
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	都市計画室	事務事業番号	00680
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>今後においても、実施計画に掲げる都市計画事業を遂行するための財源確保として必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--